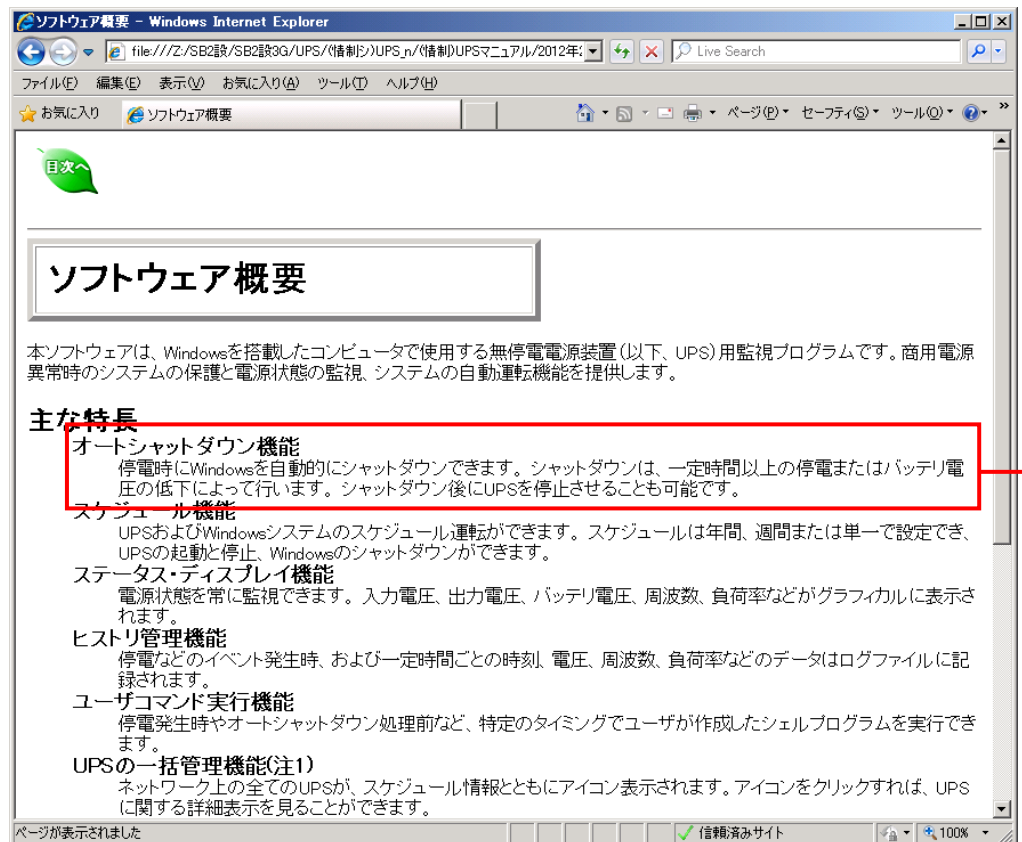
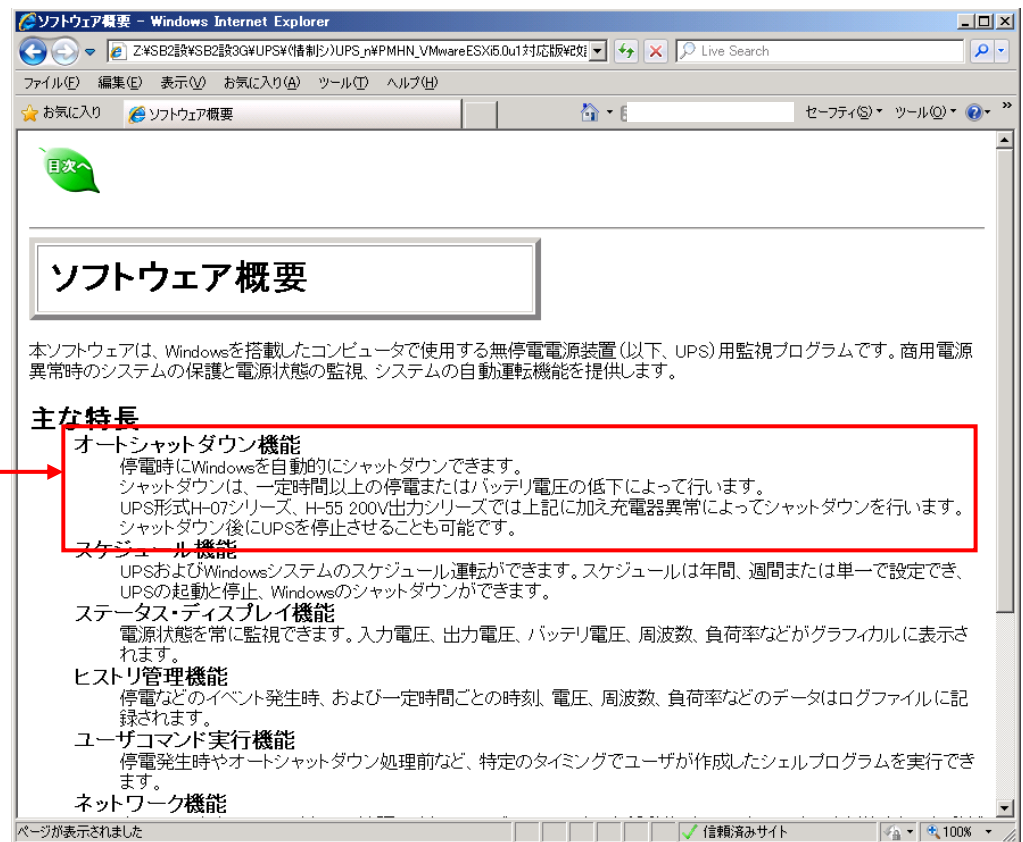


UPS管理ソフト PowerMonitor HN CD内ユーザーズガイド お詫びと訂正

このたびは、UPS 管理ソフト PowerMonitor HN をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。UPS 管理ソフト PowerMonitor HN CD 内に納めているユーザーズガイド(Windows 版)に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

1. ユーザーズガイド(Windows 版)

誤	正
<p data-bbox="67 343 403 375">「ソフトウェア概要」の項</p>  <p data-bbox="100 646 380 686">ソフトウェア概要</p> <p data-bbox="78 726 1041 774">本ソフトウェアは、Windowsを搭載したコンピュータで使用する無停電電源装置(以下、UPS)用監視プログラムです。商用電源異常時のシステムの保護と電源状態の監視、システムの自動運転機能を提供します。</p> <p data-bbox="78 798 224 821">主な特長</p> <p data-bbox="123 821 369 845">オートシャットダウン機能 停電時にWindowsを自動的にシャットダウンできます。シャットダウンは、一定時間以上の停電またはバッテリー電圧の低下によって行います。シャットダウン後にUPSを停止させることも可能です。</p> <p data-bbox="123 845 302 869">スケジュール機能 UPSおよびWindowsシステムのスケジュール運転ができます。スケジュールは年間、週間または単一で設定でき、UPSの起動と停止、Windowsのシャットダウンができます。</p> <p data-bbox="123 869 403 893">ステータス・ディスプレイ機能 電源状態を常に監視できます。入力電圧、出力電圧、バッテリー電圧、周波数、負荷率などがグラフィカルに表示されます。</p> <p data-bbox="123 893 302 917">ヒストリ管理機能 停電などのイベント発生時、および一定時間ごとの時刻、電圧、周波数、負荷率などのデータはログファイルに記録されます。</p> <p data-bbox="123 917 369 941">ユーザコマンド実行機能 停電発生時やオートシャットダウン処理前など、特定のタイミングでユーザが作成したシェルプログラムを実行できます。</p> <p data-bbox="123 941 380 965">UPSの一括管理機能(注1) ネットワーク上の全てのUPSが、スケジュール情報とともにアイコン表示されます。アイコンをクリックすれば、UPSに関する詳細表示を見ることができます。</p>	<p data-bbox="1131 343 1467 375">「ソフトウェア概要」の項</p>  <p data-bbox="1164 646 1444 686">ソフトウェア概要</p> <p data-bbox="1142 726 2105 774">本ソフトウェアは、Windowsを搭載したコンピュータで使用する無停電電源装置(以下、UPS)用監視プログラムです。商用電源異常時のシステムの保護と電源状態の監視、システムの自動運転機能を提供します。</p> <p data-bbox="1142 798 1288 821">主な特長</p> <p data-bbox="1187 821 1433 845">オートシャットダウン機能 停電時にWindowsを自動的にシャットダウンできます。シャットダウンは、一定時間以上の停電またはバッテリー電圧の低下によって行います。UPS形式H-07シリーズ、H-55 200V出力シリーズでは上記に加え充電器異常によってシャットダウンを行います。シャットダウン後にUPSを停止させることも可能です。</p> <p data-bbox="1187 845 1366 869">スケジュール機能 UPSおよびWindowsシステムのスケジュール運転ができます。スケジュールは年間、週間または単一で設定でき、UPSの起動と停止、Windowsのシャットダウンができます。</p> <p data-bbox="1187 869 1467 893">ステータス・ディスプレイ機能 電源状態を常に監視できます。入力電圧、出力電圧、バッテリー電圧、周波数、負荷率などがグラフィカルに表示されます。</p> <p data-bbox="1187 893 1366 917">ヒストリ管理機能 停電などのイベント発生時、および一定時間ごとの時刻、電圧、周波数、負荷率などのデータはログファイルに記録されます。</p> <p data-bbox="1187 917 1433 941">ユーザコマンド実行機能 停電発生時やオートシャットダウン処理前など、特定のタイミングでユーザが作成したシェルプログラムを実行できます。</p> <p data-bbox="1187 941 1355 965">ネットワーク機能</p>



EMA0014467-A

「1.インストール」－「○セットアップ」の項

7. [次へ]ボタンをクリックして、ハードウェアをインストールします。詳しくは、Windowsのネットワーク設定ヘルプをご覧ください。

8. コンピュータを再起動します。

注意 本ソフトウェアを実行するには、ネットワークの設定がされている必要があります。

インストール

1. コンピュータを起動し、ユーザ名「Administrator」でログインします。
2. 本ソフトウェアのCDをドライブに装着します。
3. コントロールパネルから「プログラムの追加と削除」→「プログラムの追加」を選択し、

「1.インストール」－「○セットアップ」の項

7. [次へ]ボタンをクリックして、ハードウェアをインストールします。詳しくは、Windowsのネットワーク設定ヘルプをご覧ください。

8. コンピュータを再起動します。

注意 本ソフトウェアを実行するには、ネットワークの設定がされている必要があります。

追加

注意 本ソフトウェアがUPSとの通信に使用可能なIPアドレスが複数ある場合は、使用するIPアドレスはオペレーティングシステムが任意に決定します。オペレーティングシステムが任意に決定した複数のIPアドレスを使用して、本ソフトウェアがUPSと通信を行ってしまうとUPS側で不定ホストが発生します。UPSは不定ホストが存在すると、停電時やスケジュール停止の際のUPS出力停止が正常に動作しませんが、コンピュータにはUPSと通信可能なIPアドレスが1つとなるようにネットワークを構築する必要があります。

「3. 基本動作」－「○オートシャットダウン」の項

基本動作 - Microsoft Internet Explorer

3
基本動作

本ソフトウェアによって、停電時のオートシャットダウンとスケジュール運転が可能になります。

オートシャットダウン

● **停電時**
停電時は、Windows画面上にメッセージボックスで「電源異常が発生しました」の警告を表示します。この表示はOKをクリックするまで継続します。

停電開始から、設定した「**停電確認時間**」が経過、バッテリー電圧低下の状態(UPSの種類によっては充電器異常の場合も含む)になると「**シャットダウンします**」の警告を表示します。上記表示後、「設定した「**シャットダウン遅延時間**」が経過」の状態になると、システムを自動シャットダウンします。「**出力コントロール**」が「有効」になっていると、指定時間後に有効に設定されている出力が停止します。この後、復電するとUPSは自動的にコンピュータに電源供給を開始します。

● **復電時**
停電後、「**停電確認時間**」までご復電した場合は、Windows画面上にメッセージボックスで「**復電しました**」の文字を表示します。この表示は[OK]をクリックすれば消えます。

基本動作 - Microsoft Internet Explorer

● **その他の異常時**
UPSにその他の異常が発生した場合にも、停電時と同じようにメッセージボックスで「障害発生」の文字を表示します。停電とバッテリー電圧低下と(UPSの設定によっては)UPS故障はシャットダウン処理につながります。障害の詳細は、ログ(CSV形式)の内容で確認できます。ログ(CSV形式)は以下の2通りの方法で確認できます。

- ・ 「PowerMonitorHN」グループの「ログ管理」を表示してください。操作は**ログの表示**を参照してください。
- ・ 「PowerMonitorHN」グループの「記録表示」を表示してください。操作は**記録表示**を参照してください。

その他、メッセージボックスで「障害発生・バイパス給電」「バイパス給電」「インバータ給電」の文字を表示します。詳細は同様にログ(CSV形式)の内容で確認できます。

「3. 基本動作」－「○オートシャットダウン」の項

基本動作 - Microsoft Internet Explorer

3
基本動作

本ソフトウェアによって、停電時のオートシャットダウンとスケジュール運転が可能になります。

オートシャットダウン
本ソフトウェアは停電やUPS内の異常を検出すると、コンピュータを自動的にシャットダウンします。

● **停電時**
停電時は、Windows画面上にメッセージボックスで「電源異常が発生しました」の警告を表示します。この表示はOKをクリックするまで継続します。

停電開始から、設定した「**停電確認時間**」が経過、バッテリー電圧低下の状態になると「**シャットダウンします**」の警告を表示します。上記表示後、「設定した「**シャットダウン遅延時間**」が経過」の状態になると、システムを自動シャットダウンします。「**出力コントロール**」が「有効」になっていると、指定時間後に有効に設定されている出力が停止します。この後、復電するとUPSは自動的にコンピュータに電源供給を開始します。

停電後、「**停電確認時間**」までご復電した場合は、Windows画面上にメッセージボックスで「**復電しました**」の文字を表示します。この表示は[OK]をクリックすれば消えます。

● **充電器異常**
UPS形式H-07シリーズ、H-55 200V出力シリーズで充電器異常が発生すると「**シャットダウンします**」の警告を表示します。上記表示後、「設定した「**シャットダウン遅延時間**」が経過」の状態になると、システムを自動シャットダウンします。「**出力コントロール**」が「有効」になっていると、指定時間後に有効に設定されている出力が停止します。UPSは、故障復旧するまで給電を開始しません。

基本動作 - Microsoft Internet Explorer

● **その他の異常時**
UPSにその他の異常が発生した場合にも、停電時と同じようにメッセージボックスで「障害発生」の文字を表示します。コンピュータを自動的にシャットダウンする判定条件の詳細は、付録2を参照ください。

障害の詳細は、ログ(CSV形式)の内容で確認できます。ログ(CSV形式)は以下の2通りの方法で確認できます。

- ・ 「PowerMonitorHN」グループの「ログ管理」を表示してください。操作は**ログの表示**を参照してください。
- ・ 「PowerMonitorHN」グループの「記録表示」を表示してください。操作は**記録表示**を参照してください。

その他、メッセージボックスで「障害発生・バイパス給電」「バイパス給電」「インバータ給電」の文字を表示します。詳細は同様にログ(CSV形式)の内容で確認できます。

「4. 動作条件の設定」－「通信ポートのページ」の項

動作条件設定

Agent IP アドレス: 192 168 10 1

GET コミュニティ名: pwrmon

SET コミュニティ名: public

ポート番号: 161

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

OK キャンセル

- **Agent IPアドレス**
UPSのIPアドレスを指定しますが、本ソフトでは、空欄にしてください。
本ソフトでは、「マルチUPS環境設定」の「UPS一覧の設定」でUPSのIPアドレスを指定してください。

注意 32ビット版の場合は、Agent IPアドレスの値を変更できません。

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「4. 動作条件の設定」－「通信ポートのページ」の項

動作条件設定

Agent IP アドレス: 192 168 10 1

GET コミュニティ名: pwrmon

SET コミュニティ名: public

ポート番号: 161

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

OK キャンセル

- **Agent IPアドレス**
本ソフトでは、「マルチUPS環境設定」の「UPS一覧の設定」でUPSのIPアドレスを指定していますので「192.168.10.1」から変更しないでください。

注意 32ビット版の場合は、Agent IPアドレスの値を変更できません。

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「4. 動作条件の設定」－「○履歴のページ」の項

UPS 監視時間間隔 (60-99999) [秒]: 900

ログの記録
 有効 無効

ファイル名: C:\powermgr\upslog

記録期間: 1ヶ月間

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

- UPS監視時間間隔:
UPSの状態を監視する時間間隔を設定します。デフォルトは900秒です。(有効設定:約10秒以上)
- ログの記録:
ログを記録するとき「有効」に、記録しないとき「無効」に設定します。
- ファイル名:
ログを記録するファイル名が表示されます。変更はできません。
- 記録期間:
ログの記録期間を設定します。この記録期間を超えた古いログは削除されます。

「4. 動作条件の設定」－「○履歴のページ」の項

UPS 監視時間間隔 (60-99999) [秒]: 900

ログの記録
 有効 無効

ファイル名: C:\powermgr\upslog

記録期間: 1ヶ月間

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

- UPS監視時間間隔:
UPSの状態を監視する時間間隔を設定します。デフォルトは900秒です。10秒単位で指定してください。
- ログの記録:
ログを記録するとき「有効」に、記録しないとき「無効」に設定します。
- ファイル名:
ログを記録するファイル名が表示されます。変更はできません。
- 記録期間:
ログの記録期間を設定します。この記録期間を超えた古いログは削除されます。ログの記録期間の単位は下記が設定できます。
「日間」 : 指定日数分のデータ以外を削除
「週間」 : 指定週数分のデータ以外を削除
「ヶ月間」 : 指定月数分のデータ以外を削除
「年間」 : 指定年数分のデータ以外を削除
「レコード」 : 無効(データは削除されません)

「5. スケジュール運転」 - 「スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了のみで入力するか、終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1.単一スケジュール > 2.年間スケジュール > 3.週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールパターンが実行されます。
 <例>12月29日月曜日に単一を追加設定した場合

	日	月	火	水	木	金	土
週間	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00
年間		12/29(月) 10:00 - 18:00	12/30(火) ×××× ××××	12/31(水) ×××× ××××	1/1(木) ×××× ××××	1/2(金) 09:00 - 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

↓

	日	12/29(月)	12/30(火)	1/1(木)	1/2(金)	1/3(土)
結果	08:00 - 21:00	10:00 - 15:00				10:00 - 21:00

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スケジュール運転」 - 「スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1.単一スケジュール > 2.年間スケジュール > 3.週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールパターンが実行されます。
 <例>12月29日月曜日に単一を追加設定した場合

	日	月	火	水	木	金	土
週間	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00	08:00 - 21:00
年間		12/29(月) 10:00 - 18:00	12/30(火) ×××× ××××	12/31(水) ×××× ××××	1/1(木) ×××× ××××	1/2(金) 09:00 - 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

↓

	日	12/29(月)	12/30(火)	1/1(木)	1/2(金)	1/3(土)
結果	08:00 - 21:00	10:00 - 15:00				10:00 - 21:00

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スケジュール運転」－「○スケジュールの例外処理」の項

スケジュールの例外処理
スケジュール運転中に、スケジュールと関係なくシステムを起動または停止したい場合の処置を説明します。

●スケジュール運転中の臨時停止
週間スケジュール、年間スケジュールで設定されたスケジュールで運転中に、臨時の停止をしたい場合は単一スケジュールを用いてください。

注意 単一スケジュール以外の方法で停止すると次回スケジュール起動できません。

●スケジュール停止中の起動
UPS前面パネルの「運転」ボタンを数秒押し、UPSは給電を開始します。

注意 スケジュール停止中の時刻にUPSを起動した場合、14分後にコンピュータがシャットダウンしUPSが停止します。

スケジュール例:
① 終了時刻 金曜日 21:00
② 起動時刻 月曜日 08:00
③ 手動起動 土曜日 13:00

停止中 ③ 手動起動
14分後にシャットダウンされます。
終了時刻 土曜日 13:15
起動時刻 月曜日 08:00

「5. スケジュール運転」－「○スケジュールの例外処理」の項

スケジュールの例外処理
スケジュール運転中に、スケジュールと関係なくシステムを起動または停止したい場合の処置を説明します。

●スケジュール運転中の臨時停止
週間スケジュール、年間スケジュールで設定されたスケジュールで運転中に、臨時の停止をしたい場合は単一スケジュールを設定するかまたは、upshutコマンドにて停止してください。
upshutコマンドの使用方法は、「[コンピュータを手動で停止する方法](#)」を参照ください。

注意 単一スケジュールまたは、upshutコマンド以外の方法で停止すると次回スケジュール起動できません。

●スケジュール停止中の起動
UPS前面パネルの「運転」ボタンを数秒押し、UPSは給電を開始します。

注意 スケジュール停止中の時刻にUPSを起動した場合、14分後にコンピュータがシャットダウンしUPSが停止します。

スケジュール例:
① 終了時刻 金曜日 21:00
② 起動時刻 月曜日 08:00
③ 手動起動 土曜日 13:00

起動中 ① 停止中 ② ③ 手動起動
14分後にシャットダウンされます。
終了時刻 土曜日 13:15
起動時刻 月曜日 08:00

「付録1」

「付録1」

Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

障害情報詳細
 左から1桁目は、「1」のとき「起動時バッテリー電圧不足」発生、「0」のとき未発生
 左から2桁目は、「1」のとき「出力過電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から3桁目は、「1」のとき「出力不足電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から4桁目は、「1」のとき「出力過電流」発生、「0」のとき未発生
 左から5桁目は、「1」のとき「UPS自己診断異常」発生、「0」のとき未発生
 左から6桁目は、「1」のとき「バッテリー放電終止」発生、「0」のとき未発生
 左から7桁目は、「1」のとき「直流低電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から8桁目は、「1」のとき「直流過電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から9桁目は、「1」のとき「過負荷3」発生、「0」のとき未発生
 左から10桁目は、「1」のとき「過負荷2」発生、「0」のとき未発生
 左から11桁目は、「1」のとき「過負荷1」発生、「0」のとき未発生
 左から12桁目は、「1」のとき「温度異常」発生、「0」のとき未発生
 左から13桁目は、「1」のとき「充電器異常」発生、「0」のとき未発生
 左から14桁目は、「1」のとき「バッテリー寿命予告」発生、「0」のとき未発生
 左から15桁目は、「1」のとき「バッテリー過電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から16桁目は、「1」のとき「出力過電流連続5回」発生、「0」のとき未発生
 左から17-24桁目は、予備

障害情報に対する処置

```

  graph TD
    A[「充電器異常」発生] -- Yes --> B[給電が切れますので、接続機器は速やかに停止ください。  
このUPSはご使用にならないでください。  
販売店へご相談ください。]
    A -- No --> C{「出力過電圧」または、  
「直流過電圧」発生}
    C -- Yes --> D[UPSの交換が必要です。  
販売店へご相談ください。]
  
```

ページが表示されました

マイコンピュータ

Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

障害情報詳細
 左から1桁目は、「1」のとき「起動時バッテリー電圧不足」発生、「0」のとき未発生
 左から2桁目は、「1」のとき「出力過電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から3桁目は、「1」のとき「出力不足電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から4桁目は、「1」のとき「出力過電流」発生、「0」のとき未発生
 左から5桁目は、「1」のとき「UPS自己診断異常」発生、「0」のとき未発生
 左から6桁目は、「1」のとき「バッテリー放電終止」発生、「0」のとき未発生
 左から7桁目は、「1」のとき「直流低電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から8桁目は、「1」のとき「直流過電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から9桁目は、「1」のとき「過負荷3」発生、「0」のとき未発生
 左から10桁目は、「1」のとき「過負荷2」発生、「0」のとき未発生
 左から11桁目は、「1」のとき「過負荷1」発生、「0」のとき未発生
 左から12桁目は、「1」のとき「温度異常」発生、「0」のとき未発生
 左から13桁目は、「1」のとき「充電器異常」発生、「0」のとき未発生
 左から14桁目は、「1」のとき「バッテリー寿命予告」発生、「0」のとき未発生
 左から15桁目は、「1」のとき「バッテリー過電圧」発生、「0」のとき未発生
 左から16桁目は、「1」のとき「出力過電流連続5回」発生、「0」のとき未発生
 左から17-24桁目は、予備

障害情報に対する処置

```

  graph TD
    A[「充電器異常」発生] -- Yes --> B[給電が切れますので、接続機器は速やかに停止ください。  
このUPSはご使用にならないでください。  
販売店へご相談ください。]
    A -- No --> C{「出力過電圧」または、  
「直流過電圧」発生}
    C -- Yes --> D[UPSの交換が必要です。  
販売店へご相談ください。]
  
```

※UPS形式H-07シリーズ、H-55 200V出力シフトは、充電器異常が発生すると、本ソフトウェアはコンピュータのシャットダウン処理を行います。

ページが表示されました

マイコンピュータ

「付録 2」

C:\Documents and Settings\10433638\Desktop\DOC\WINDOWS\append_b.htm - Microsoft Int...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

目次へ HELP

付録 2

判定条件詳細説明

停電/abnormal(不-バッテリー)判定条件に関する詳細を下記に説明します。

イベント判定に関するユーザ定義

停電判定/abnormal(不-バッテリー)判定に関するユーザ定義

ユーザ定義①: UPS台数
[all / at-least-one/ 2/ 3/ 4/ 5/ 6/ 7/ 8 / special]
special: UPS台数によるイベント判定は行わない

ユーザ定義②: 特定UPS
(1台のみ定義可能)

<停電判定条件>
以下の(1)、(2)のいずれかの条件を満たす場合

(1)下記2項目のAND条件を満たすこと。
・1台以上のUPSが「onBattery」である
・「onBattery」「abnormal(不-バッテリー)」「出力なし」「通信異常」のUPS台数が、ユーザ定義①で定義した台数以上である

ページが表示されました

マイコンピュータ

「付録 2」

C:\Documents and Settings\10433638\Desktop\HTMLデータ再修正_20111003\WINDOWS\append...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) C:\Documents and Settings\10433638\Desktop\HTMLデータ再修正_20111003\WINDOWS\appen

目次へ HELP

付録 2

判定条件詳細説明

停電/abnormal(不-バッテリー)判定条件に関する詳細を下記に説明します。

イベント判定に関するユーザ定義

停電判定/abnormal(不-バッテリー)判定に関するユーザ定義

ユーザ定義①: UPS台数
[all / at-least-one/ 2/ 3/ 4/ 5/ 6/ 7/ 8 / special]
special: UPS台数によるイベント判定は行わない

ユーザ定義②: 特定UPS
(1台のみ定義可能)

<停電判定条件>
以下の(1)、(2)のいずれかの条件を満たす場合、本ソフトウェアは停電と判断しコンピュータをシャットダウンします。

(1)下記2項目のAND条件を満たすこと。
・1台以上のUPSが「onBattery」である
・「onBattery」「abnormal(不-バッテリー)」「出力なし」「通信異常」のUPS台数が、ユーザ定義①で定義した台数以上である

マイコンピュータ

「付録2」

② ユーザ定義②で定義した特定UPSが「onBattery」であること。

[下表の語句と記号の説明]
 正常: UPSがインバータ給電
 onBattery: UPSがリバッテリー運転
 出力なし: UPSの出力停止 [例] 手動でUPSを停止させた
 abnormal(ⓐ-バッテリー): バッテリ電圧低下 [例] バッテリの寿命劣化故障、長時間のバッテリー運転
 通信異常: UPSとコンピュータ間の通信異常 [例] ネットワークケーブルの切断、スイッチングハブの故障

○: UPSが停電と判断し、コンピュータをシャットダウンする

(UPS2台監視の組み合わせ)

ユーザ定義①: all

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
UPS2	正常					
	onBattery		○	○	○	○
	出力なし		○			
	abnormal(ⓐ-バッテリー)		○			
	通信異常		○			

ユーザ定義①: at-least-one

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
UPS2	正常		○			
	onBattery	○	○	○	○	○
	出力なし		○			
	abnormal(ⓐ-バッテリー)		○			
	通信異常		○			

ページが表示されました

マイ コンピュータ

「付録2」

② ユーザ定義②で定義した特定UPSが「onBattery」であること。

[下表の語句と記号の説明]
 正常: UPSがインバータ給電
 onBattery: UPSがリバッテリー運転
 出力なし: UPSの出力停止 [例] 手動でUPSを停止させた
 abnormal(ⓐ-バッテリー): バッテリ電圧低下 [例] バッテリの寿命劣化故障、長時間のバッテリー運転、充電器異常 [UPS機種限定: H-07シリーズ、H-55 200V出力シリーズ]
 通信異常: UPSとコンピュータ間の通信異常 [例] ネットワークケーブルの切断、スイッチングハブの故障

下表にUPS2台を監視する構成を例に、停電判定条件を示します。
 下表で「○」は本ソフトウェアが停電と判断しコンピュータをシャットダウンする場合を示します。

ユーザ定義①: all

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
UPS2	正常					
	onBattery		○	○	○	○
	出力なし		○			
	abnormal(ⓐ-バッテリー)		○			
	通信異常		○			

ユーザ定義①: at-least-one

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
UPS2	正常		○			
	onBattery	○	○	○	○	○
	出力なし		○			
	abnormal(ⓐ-バッテリー)		○			
	通信異常		○			

マイ コンピュータ

「付録2」

C:\Documents and Settings*\10433638*\デスクトップ*\DOC*\WINDOWS*\append_b.htm - Microsoft Int...

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ユーザ定義①: special + ユーザ定義②: UPS1

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
UPS2	正常		○			
	onBattery		○			
	出力なし		○			
	abnormal(ⓐ-バッテリー)		○			
	通信異常		○			

< abnormal(ⓐ-バッテリー)判定条件 >

(1)下記2項目のAND条件を満たすこと。
 ・1台以上のUPSが「abnormal(ⓐ-バッテリー)」であること。
 ・「abnormal(ⓐ-バッテリー)」「出力なし」「通信異常」のUPS台数が、ユーザ定義①で定義した台数以上であること。

(2)ユーザ定義②で定義した特定UPSが「abnormal(ⓐ-バッテリー)」であること。

[下表の語句と記号の説明]
 正常: UPSがインバータ給電
 onBattery: UPSがバッテリー運転
 出力なし: UPSの出力停止 [例]手動でUPSを停止させた
 abnormal(ⓐ-バッテリー): バッテリー電圧低下 [例] バッテリーの寿命劣化故障、長時間のバッテリー運転
 通信異常: UPSとコンピュータ間の通信異常 [例] ネットワークケーブルの切断、スイッチングハブの故障

○: UPSがabnormal(ⓐ-バッテリー)と判断し、コンピュータをシャットダウンする

(UPS2台監視の組み合わせ)

ユーザ定義①: all

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
	正常					
	onBattery					

ページが表示されました

マイ コンピュータ

「付録2」

C:\Documents and Settings*\10433638*\デスクトップ*\HTML*\データ_再修正_20111003*\WINDOWS*\append...

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ユーザ定義①: special + ユーザ定義②: UPS1

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
UPS2	正常		○			
	onBattery		○			
	出力なし		○			
	abnormal(ⓐ-バッテリー)		○			
	通信異常		○			

< abnormal(ⓐ-バッテリー)判定条件 >

以下の(1)、(2)のいずれかの条件を満たす場合、本ソフトウェアは「abnormal(ⓐ-バッテリー)」と判断しコンピュータをシャットダウン

(1)下記2項目のAND条件を満たすこと。
 ・1台以上のUPSが「abnormal(ⓐ-バッテリー)」であること。
 ・「abnormal(ⓐ-バッテリー)」「出力なし」「通信異常」のUPS台数が、ユーザ定義①で定義した台数以上であること。

(2)ユーザ定義②で定義した特定UPSが「abnormal(ⓐ-バッテリー)」であること。

[下表の語句と記号の説明]
 正常: UPSがインバータ給電
 onBattery: UPSがバッテリー運転
 出力なし: UPSの出力停止 [例]手動でUPSを停止させた
 abnormal(ⓐ-バッテリー): バッテリー電圧低下 [例] バッテリーの寿命劣化故障、長時間のバッテリー運転、
 充電器異常 [UPS機種限定: H-07シリーズ, H-55 200V出力シリーズ]
 通信異常: UPSとコンピュータ間の通信異常 [例] ネットワークケーブルの切断、
 スwitchングハブの故障

下表にUPS2台を監視する構成を例に、abnormal(ⓐ-バッテリー)判定条件を示します。
 下表で「○」は本ソフトウェアがabnormal(ⓐ-バッテリー)と判断しコンピュータをシャットダウンする場合を示します。

ユーザ定義①: all

		UPS1				
		正常	onBattery	出力なし	abnormal(ⓐ-バッテリー)	通信異常
	正常					
	onBattery					

ページが表示されました

マイ コンピュータ